

( 検討課題 1 第 1 0 次改訂後資料 P 1 9 )

( 要検討事項 )

兄弟姉妹等からの精子・卵子・胚の提供を認めるか？

( 案 1 ) 「兄弟姉妹等からの精子・卵子・胚の提供」を認める。

( 案 2 ) 「兄弟姉妹のみからの精子・卵子・胚の提供」を認める。

( 案 3 ) 「姉妹等からの卵子の提供」のみ認める。精子・胚については、兄弟姉妹等からの提供を認めない。

( 上記 3 案いずれの場合も )

子の福祉などを担保するためのカウンセリング体制の整備などの環境整備を条件とする。

( 関連 ) カウンセリング、インフォームド・コンセントの内容 ( 検討課題 2 )

( 関連 ) 生まれた子の出自を知る権利 ( 検討課題 1 ・ 3 )

( 案 4 ) 「兄弟姉妹等からの精子・卵子・胚の提供」は、( 当分の間、 ) 認めない。

当分の間、認めない場合は、精子・卵子・胚を提供する人の匿名性が保持された生殖補助医療が実施されてから一定期間経過後、兄弟姉妹等からの精子・卵子・胚の提供による生殖補助医療の実施の是非について再検討することとする。

( ) 精子・卵子・胚の提供者と提供を受ける者との属性の一致等の条件について

A B O 式血液型 ( A 型 ・ B 型 ・ O 型 ・ A B 型 ) について、提供を受ける人の希望があり、かつ可能であれば、精子・卵子・胚の提供者と属性を合わせることが出来ること ( 合わせられない場合もあること )

A B O 式血液型以外の血液型 ( R h 型血液型等 ) については必ずしも合わせることができないこと

提供された精子・卵子・胚を使用して第 1 子が生まれたのち、提供された精子・卵子・胚の残りを第 2 子のために使用することについて

( 検討課題 1 第 1 0 次改訂後資料 P 2 0 )

( 要検討事項 )

属性以外の提供を受ける者の希望に応えるか？また、応える場合、どこまで応えるか？

( 第 2 子や第 3 子も同じ提供者から提供してほしい等 )

提供された精子・卵子・胚を使用して第 1 子が生まれたのち、提供された精子・卵子・胚の残りを第 2 子のために使用することについては、

( 案 1 ) 可能な限り認める。ただし、精子・卵子・胚を提供する際に、当該提供により、第 1 子だけでなく第 2 子も生まれる可能性があることについて、提供する人に対し、インフォームド・コンセントを取っておく。

( 案 2 ) 認めない。